

令和2年度 大阪府 国民健康保険事業 決算概況のポイント

資料 13-2

1 単年度収入の構成は、公費(国費及び府費)が40%近く、事業費納付金(保険料等)、前期高齢者交付金(他保険者からの支援金)が約30%

・公費(国庫支出金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金)	3,206 億 76 百万円(38.46%、対前年比 0.18 ポイント増)
・事業費納付金(保険料等)	2,697 億 31 百万円(32.35%、対前年比 0.19 ポイント減)
・前期高齢者交付金	2,432 億 65 百万円(29.18%、対前年比 0.03 ポイント増)

※ 国庫支出金(2,659 億 38 百万円)の内訳

療養給付費等負担金 1,747 億 34 百万円、高額医療費負担金 74 億 38 百万円、特別高額医療費共同事業負担金 5 億 50 百万円、
特定健康診査等負担金 8 億 60 百万円、普通調整交付金 609 億 64 百万円、特別調整交付金 136 億 63 百万円、保険者努力支援制度交付金 77 億 28 百万円

2 単年度支出の構成は、保険給付費等が約80%、後期高齢者医療への支援金が約14%、介護保険への納付金が約5%

・保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業	6,457 億 71 百万円(79.88%、対前年比 0.11 ポイント減)
・後期高齢者支援金等	1,102 億 4 百万円(13.63%、対前年比 0.20 ポイント増)
・介護納付金	436 億 53 百万円(5.40%、対前年比 0.25 ポイント増)

3 単年度収支差は、254 億 28 百万円の黒字、基金繰入金(5 億 59 百万円)及び昨年度繰越金(1 億 22 百万円)の活用、 基金積立(2 億 4 百万円)及び基金貸付(1 億 50 百万円)後の次年度繰越額は、257 億 56 百万円

- ・次年度への繰越額(257 億 56 百万円)は、令和2年度末における「形式的な」資金収支差。
- ・療養給付費等負担金、退職者医療交付金及び高額医療費負担金は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び精算は翌年度(令和3年度)に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

療養給付費等負担金	<u>返還額</u> ▲191 億 63 百万円
退職者医療交付金	<u>返還額</u> ▲6 億 76 百万円
高額医療費負担金	<u>返還額</u> ▲1 億 46 百万円

返還額合計 ▲199 億 85 百万円

⇒ 大阪府分の令和2年度の実質的な歳出規模は、8,287 億 18 百万円(8,087 億 33 百万円+ 199 億 85 百万円)となり、
収支差引残は、57 億 72 百万円(0.69%)の黒字。

※ 出典:事業年報B表(令和4年3月15日時点)

※ 単位:百万円、%(小数第2位まで) 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

令和2年度 大阪府内 43 市町村総計 国民健康保険事業 決算概況のポイント

1 単年度収入の構成は、都道府県支出金(普通交付金含む)が約 70%、保険料収入が約 19%、一般会計繰入金が約 10%

・都道府県支出金(うち普通交付金)	6,454 億 56 百万円(6,285 億 18 百万円)69.71%(対前年比 0.84 ポイント減)
・保険料収入	1,743 億 11 百万円 18.83%(対前年比 0.06 ポイント減)
・一般会計繰入金	966 億 7 百万円 10.43%(対前年比 0.17 ポイント増)

2 単年度支出の構成は、保険給付費が約 68%、国保事業費納付金が約 29%、総務費が約 1.8%

・保険給付費	6,207 億 37 百万円 67.87%(対前年比 1.07 ポイント減)
・国保事業費納付金	2,697 億 31 百万円 29.49%(対前年比 0.99 ポイント増)
・総務費	159 億 79 百万円 1.75%(対前年比 0.05 ポイント増)

3 純資産(資産－負債)は、黒字 40 市町村(428 億 67 百万円)、赤字 3 市町村(▲17 億 13 百万円)

うち、収支差引額では、黒字 41 市町村(187 億 24 百万円)、赤字 2 市町村(▲16 億 58 百万円)

単年度収支差は、黒字 35 市町村(120 億 42 百万円)、赤字 8 市町村(▲ 6 億 69 百万円)

累積赤字額は、元年度 26 億 32 百万円 → 2年度 17 億 13 百万円へ、9 億 19 百万円(34.92%)の減少

- ・単年度収支差の黒字は、元年度 73 億 10 百万円 → 2年度 120 億 42 百万円(+47 億 32 百万円 64.73%増)に増嵩している。
- ・単年度収支差の赤字は、8 市町村(▲6 億 69 百万円)あるが、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字としている。
- ・純資産は、元年度 296 億 30 百万円 → 2年度 411 億 53 百万円(+115 億円 23 百万円 38.89%増)に増嵩している。

※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

基金等保有額は、元年度 208 億 20 百万円 → 2年度 242 億 38 百万円(+34 億 18 百万円 16.42%増)

次年度繰越額は、元年度 114 億 41 百万円 → 2年度 187 億 24 百万円(+72 億 83 百万円 63.66%増)

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

大阪府国民健康保険運営方針において、累積赤字は解消をめざすものとしており、累積赤字縮減は保険財政健全化に資するものである。

※ 出典:事業年報B表(令和4年3月15日時点)

※ 単位:百万円、%(小数第2位まで) 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。